

# 国体出場選手 紹介

第36回国民体育大会秋季大会(びわこ国体)は、13日から6日間、湖国・滋賀県で開催されます。本町からは伝統を誇る相撲に2名、アーチェリー、体操・ボクシングなどに合計5名が出場します。

- 体操(少年女子) 菟島久美子(山田)
- 相撲(少年男子) 笠原和明(鳥原本村)
- 相撲(少年男子) 保莉和則(黒鳥一)
- アーチェリー(成年女子) 笹川良子(二ノ町)
- ボクシング(成年男子) 丸山博(鳥原本村)

みなさんご承知と思いますが、新潟県では今年、「健康にいがたクローバー運動」を推進しています。この主旨は、より良い食生活を常

## 大野小で調理伝達

- 一、母乳で育てよう。二、塩分を減らそう。三、野菜を食べよう。四、牛乳を飲もう。などの内容で



健康は食事から

九月二十一日(月)、大野地区の調理伝達が行われました。会場の大野小に、食生活推進委員、大野町の婦人会のみなさん約四十名が集



山田上にお住まいの齊藤伝一さんが、「困った人の為に役に立てて欲しい」と十万円を、九月二十九日、黒埼町に寄付されました。



# 来年度からバイク通学は 全面禁止

## 黒埼高校

しかし、自主退学者がいるという事はやはり残念なことです。高校生は、法的には自動車二輪の免許が取得できます。義務教育ではありません。いわば、半大人であることが指導のもっとも難しい点であるようです。そして、何よりも地域の人人との協力が必要なのではないでしょうか。

# 落とし物の持ち主が現われない

## 黒埼中学校

今と昔の黒埼中学校で一番変わったことは、落とし物の持ち主が現われないことだそうす。「物が豊かになったからなあ」と、考える人が多いと思います。では物が少なくなればいいのでしょうか。欲しくても買えない。そういう状況が好ましいのでしょうか。物が豊かになったから少年非行が増えたと考えるのは余りにも短絡でしょう。第一、物を生産しているのは大人なのです。

は一学期だけで十名です。生活指導を担当されている渡部文男先生は、その対策として、一、学校と父兄の連絡を密にする、二、放課後の特別活動(クラブなど)の充実、三、悪書などを追放し、環境を浄化することの三点を挙げています。つまり、家庭、学校、地域の三方向から非行をなくしていきたいわけですね。特に校内では服装、髪型などに注意しています。夏休み前の七月二十三日には、生活指導を語る会が開かれ、先生と父兄の相互の協力が約束されています。また、夏休みの間も各小



黒埼高校自転車置き場。バイクはあまり見あたりません。

学区で、生活指導が行われました。渡部先生は、「昔は家庭にない物が学校にあった。今は、学校にない物が家庭にあります。例えば高級なステレオ、ビデオ。実際、家庭訪問に行くとき驚かされます。物を与えるのは、悪いことではないんですが、落とし物にしても難しも取りに来ないというの、やはり心の問題だと思えますね」と言われています。買って与えるのではなく、時には親が手作りの物を与えることも大事なのではないのでしょうか。

非行防止はどうすればよいのでしょうか。交通事故は、あくまで空想ですが、車を一台もなくせばなくなりません。しかし、非行防止には、特効薬はありません。社会問題ではなく家庭問題と認識する。立て看板を立てる。地域学校、各種スポーツサークルなどが協力し合う。高校生はバイクに乗らないようにする。etc.どれも有効でないものはないでしょう。しかし.....。みなさん考えて下さい。「広報くろさき」では非行防止について多くの方のご意見をお待ちしております。投稿、連絡先 黒埼町役場企画調整課 黒埼町大野二八四三二一 七三三〇一

# 私の視点

町長 浅妻次一郎

本町の菊と盆栽づくりの優れた技術が国境を越えて、友好親善に役立ったのは、今から二年前です。今から四年前本町の菊花会、盆栽会の総会に招かれ、席上、会員の一人から、菊の原産地は中国であり、いつの時代かに渡

このたびは返礼訪問中として九月二十二日から二十六日まで一行二十七名が、上海と杭州を表敬訪問してまいりました。私は生まれて始めての訪中であり、実に幸せ者であると感じを深くした次第です。菊、盆栽づくりといえども、植物を育てる面では、人間教育と同じく指導者で左右されます。私はしようとするが、甘やかしても厳しくとも、またいいかげんでも成育しないと思います。人間はものを言えるところに、植物は語らないところにそれぞれ特徴を持ち、また難しい面を持っていてと思います。たとえ水をやり過ぎて不足してもと言ったように、語らなくとも教えたり教わったり、失敗したり成功したり。

その結果、協議一決、その趣旨を若果知事に、そして佐野藤三郎日中友好協会会長に、いろいろ相談、指導を得て、一九七九年十一月三日、菊薫る文化の日に、駐日大使館から、一等書記官金森城、南運衛二夫妻、張雨生先生をお招きして、日中友好親善菊花、盆栽展を総合体育館で盛大に行いました。

たゆまぬ研究と努力の結果、優れた技術を取得され、毎年すばらしい菊花を私たちに見せてくのおかげで、訪中できた喜びを感謝し、次回は訪中の感想をのべさせていただきます。